

飯舘村にかつての美しい風景とにぎわいを

人口1万人を目指して

今後30年かけて村の人口を1万人まで回復し、農業を中心とした生業の創出により人口回復による村の活気を取り戻していきます。
東日本大震災及びその後の原発事故の影響で、飯舘村に思いを寄せながら帰村出来ないそれぞれの村民が、先祖代々の土地で再び農業を生業とする目標をもって再び帰村出来るよう、新たな時代の技術を駆使した農業のモデルケースを作り上げていくことに取り組んでいきます。

農畜産業の継承 ~最も飯舘らしい産業~

農業の担い手不足を解消すべく、スマート農業による新たな技術を取り入れます。これまで培った村の農業技術をデータ化することにより継承し、高収益を目指すモデルを構築できる大規模化を目指していきます。人手不足を解消するスマート化で飯舘の農畜産業を再び盛んにします。



観光 ~大規模農業景観で観光産業の創出~

大規模農園景観を計画的に進め、壮大な四季折々に咲く作物の花の時期、作物が実る時期等に景観鑑賞による交流人口300万人を目指し、これにより観光産業の創出を促します。



自動運転などの
実証実験にも



スマート農業が実現!

D R E A M V I S I O N

「私たちは大規模農園に答えがあると考えます」

私たち地域創造研究所が取り組む

希望づくりとなりわいづくり

子、孫、ひ孫が帰村して農業に取り組める場所

高収入で経済的に安定した産業

畑作が基本の飼料生産地帯

~最も先進的で被災地最大の農業地域を飯舘に~

国内飼料も
自給の時代

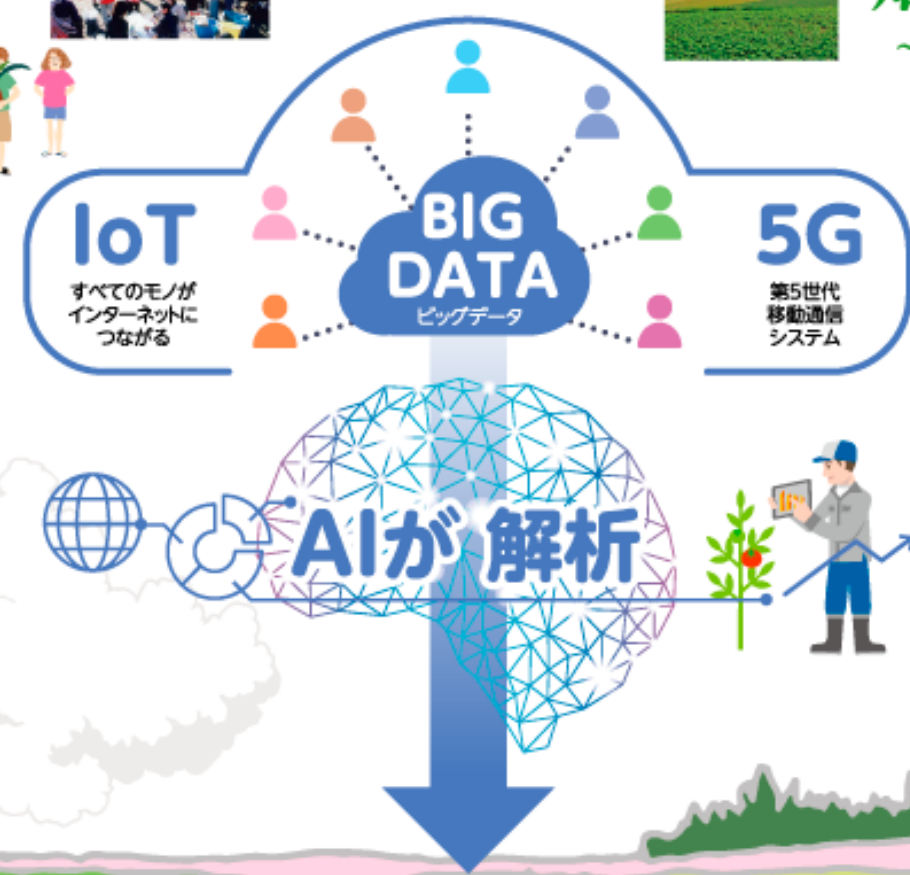
畑作による飼料生産地帯となることを目指し、被災地最大の農業地帯を作ることにより、飼料作物の自給率向上や飯舘での畜産業を再び盛んにすることを促します。

畑作 → 大規模化 → 高収益

スマート農業 ~もう手が届く未来~

センサー技術の高度化、あらゆるものがインターネットにつながるIoT技術、高速大容量な5G通信が結びつき、無人で管理でき、かつ繊細なコントロールが可能な農業用機械やロボットが人に代わって仕事をします。また集積されたビッグデータをAIが解析し、これまで人の五感や経験に頼ってきた農作業を自動化するシステムが続々と開発されています。

ミリ単位の精度で制御
可能な無人トラクター



飯舘の地で夢見ること、それは復興への確かな手ごたえと経済的な安心